

HJ-7200SS

取扱説明書



本書の内容

ご使用前に必ずお読みください	各部の名称と付属品	組み立て手順
操作部説明及び操作手順	基本的な操作の説明	オートプログラムの説明
ユーザープログラムの説明	ハートレイトの使い方	故障かな?と思ったら
カリブレーション(再設定)	電源が入らない場合	製品仕様書

ご注意： ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
又、本書は大切に保管してください取り外してある部品は、本書をよく読んで組み立ててください。

総発売元 株式会社 中旺ヘルス

〒452-0011 愛知県西春日井郡西枇杷島町城並3-2-2 Tel052-501-2577 Fax052-501-2588

東京営業所 03-3835-4399 Fax03-3835-4755

E-mail:hj@jp-chuoh.com

御使用の前に必ずお読みください

各部分を清掃する前には必ず電源からプラグを抜いてください。

アース(接地)の必要性

このトレッドミルは施設用又は家庭用で使用するものですが必ずアースを接続して下さい。故障やマシントラブルの際に漏電が発生した場合や静電気の発生から体を守る為、アースを取る事で電流が体に流れるのを最小にし、電気ショックを受ける危険性を防ぎます。トレッドミルの電源接続ケーブルにはアース用の導線と接続プラグがついています。施設は電気工事に関する取り締まり基準及び規則に基づいてアース線を含む電源を差し込みプラグの形状で準備する必要があります。マシンの電源ケーブルの接続プラグはそこに接続します。

危険!

アース用導線が正しく接続されていないと電気ショックを受ける場合があります非常に危険です。このトレッドミルは電源としてメーカー専用部品以外アース付き専用回線が必要です。電源とマシンのプラグの形状を合わせて直接接続するようにし、延長ケーブルやその他の接続方法は用いないで下さい。

単相	100	60/50	15		
単相	200	60/50	15	専用トランスBOX外側設置	オプション

メンテナンス

HJ-7200SSJは精度が高く高品質のマシンで、長期にわたり使用できるように設計されています。さらに毎日の簡単なメンテナンスがマシンの寿命を確実に延ばします。

毎日の手入れ

飲み物や汗など液体がこぼれたときは直ちに拭き取ってください。ワークアウトの後はきれい乾燥した布でグリップや表面に残っている汗を拭き取ってください。

毎週の手入れ

湿った布で汗の塩分を除去してください。塩分は汗から備蓄します。ディスプレイパネルとコ-ルの間に液体をこぼさないよう、また過湿にならないよう注意してください。電気系統の事故故障の原因となります。

毎月の手入れ

過度の擦り切れに備えて走行板と走行ベルトの点検は定期的に行ってください。走行ベルトは微調整が必要となります。

走行ベルトと走行板表面の点検

走行ベルトが正常に動いていることを確認するように努めてください。基本的には毎週、ベルト亀裂や擦り切れたところがないか目で確認して下さい。確かめる方法は走行ベルトをゆるめて確かめてください。

走行ベルトの調整
走行ベルトの張りの調整
走行ベルトの位置の調整

} 別紙の黄色紙の走行ベルト調整方法をお読みください。

設置・取り扱い上の注意

HJ-7200SSを末永くお使いいただくために、次のことは必ずお守りください。

直射日光の当たる場所、湿気やホコリの多い場所、雨水や砂などがかかる場所には設置しないでください。マシンの故障の原因となります。水平で、床のしっかりした安定のよい場所に設置してください。不安定な場所に設置されますと正しいトレーニングの妨げになります。

デジタル表示板に、強い衝撃や圧力を加えないでください。

また、モーターカバーに乗ったりプラスチック部に無理な力を加えないでください。

トレーニング時のご注意

安全で快適なトレーニングを行っていただくためには、最低限知っておいて守っていただきたいことがあります。

トレーニング中に起こる事故のほとんどはちょっとした注意で未然に防ぐことが可能です。

次にあげる危険な行為は絶対にお止めください。

いきなりマシンに飛び乗るようなことはお止めください。

マシンに乗る際に、走行ベルトが停止の状態ですべての上に乗るようにしましょう。

人がトレーニング中にサイドや後方から手や足をベルトに乗せたりしないでください。

手すりを持たずにトレーニングする際よそ見をしたり手をポケットなどに突っ込んだままトレーニングをするのはお止めください。

何かにつまずいたり、引っかかったりした時、頭や顔などから転倒し大けがの原因となります。手すりを持たずにトレーニングする前には必ずインストラクターの指示を受けご自分にあったスピードでトレーニングしてください。

マシンから降りる際は飛び降りたりしないでください。

ご使用前に必ずお読みください

走行ベルトのお手入れ

過度の擦り切れに備えて走行板と走行ベルトの点検は定期的におこなってください。
走行ベルトは調整が必要です。（走行ベルトは消耗品です）

走行ベルトと走行板表面の点検

走行ベルトが正常に動いていることを確認するように努めてください。
基本的には毎週走行ベルトの亀裂や擦り切れた所がないことを目で確認してください。

走行ベルトの調整

走行ベルトの調整方法のページをよくお読みの上、調整をお願いします。

製品に関する保証内容

本製品は基本的には特定の方が常時管理されている状態で、設計、製作しておりますので製品保証についてもそれを原則としております。

取り扱いマニュアルに従った正常なご使用で、万一品質保証上不都合が発生したときは、保証書記載内容により、お買い上げ頂いた日から保証期間内において原則として販売店が保証・修理いたします。

保証修理は補修または部品の交換によって行い、これによって交換された不良部品は弊社の所有となります。

保証期間内においても、不都合の内容によっては出張修理等の経費を請求させて頂く場合がございますので予めご相談ください。

保証期間内であっても次のような場合の修理は有償とさせていただきます。

- ・ 誤用、乱用及び取り扱い上の不注意によるもの
- ・ 弊社が認めた技術者以外によって修理、改造した場合
- ・ 火災、水害、震災などの災害や動乱、争乱によって引き起こされた災害によるもの
- ・ 部品の通常の磨耗、または生じた傷、色の変色、外観上の変化
- ・ 昨日に影響の無い感覚的障害（音、振動など）

運送、配送に関する保証対象免責事項

- ・ 取扱説明書に従わない使用によって起きたあらゆる損害
- ・ 安全キー、モニター操作ボタンの乱用によるスイッチの故障、破損
- ・ 保障期間中にご使用できなかったことによる損失等

この保証規定は日本国内の使用に限ります。

各部の名称と付属部品





各部の名称

はじめに部品の中身を確認してください。

もし部品が足りない場合は、
お手数ですが販売店にお問い合わせください。



部品リスト

	部品名	使用用途
	ハートレイト	心拍数を測る装置です。
	モンキレンチ	手すりを本体につける時に使用します
	L型レンチ	支柱のボルトを固定するときに使用します
	非常停止キー	操作パネルにプラグを差込み使用します。

組み立て手順

組立工具

・モンキーレンチ ・ドライバー ・六角レンチ

袋に入ってる部品

部品名称	数量
皿型六角ボルト 5/16" × 1" (長さ約3cm)	8
ショルダーワッシャー	4
六角ボルト 5/16" × 11/2" (長さ約4.3cm)	2
フラットワッシャー	12
スターワッシャー	4
六角ボルト 5/16" × 5" (長さ約13.3cm)	2
六角レンチ	1
レンチクリップ	1
スクリューボルト	7

注意：組立が完全に終わるまで電源プラグをコンセントに差し込まないようにしてください。

STEP 1

箱を開けて中から手すり、部品の入った袋、本体上部などを取り出します。

STEP 2 (図1参照)

モーターカバーを取り外します。

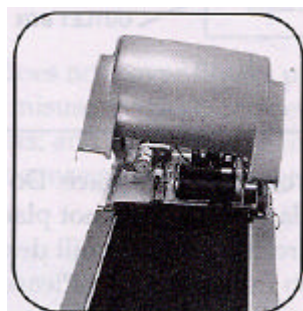


図1

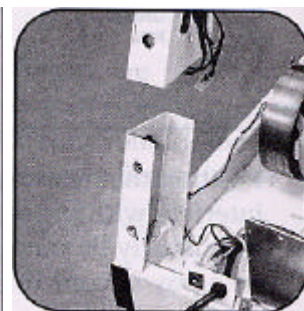


図2

STEP 3 (図2参照)

本体上部の左右の柱を本体下のフレームに差し込みます。

STEP 4 (図3参照 (図4参照))

皿型六角ボルト(長さ約3cm)にフラットワッシャーとショルダーワッシャーをセットします。これらは右柱の固定に使用するボルトです。同様に皿型六角ボルト(長さ約3cm)にフラットワッシャー、スターワッシャーをセットします。これらは左柱の固定に使用するボルトです。それぞれ各4セットとなります。セットしたボルトを左右の柱の下の前方と側面各2箇所ずつに差し込みL型レンチを使い固定します。

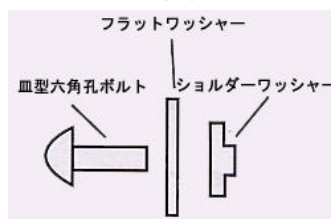


図3 (右用) 4本

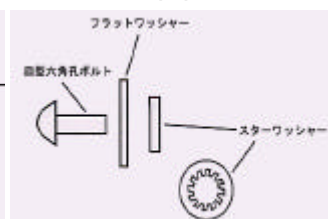


図3 (左用) 4本



図4

組み立て操作手順

STEP 5 (図5参照)(図6参照)

本体上部右柱についている配線を固定してあるバンドを切断します。(図5参照)配線を切らないように注意して切断してください。外した2本の配線をモーター前側に取り付けてあるコンピューター基盤に差し込みます。

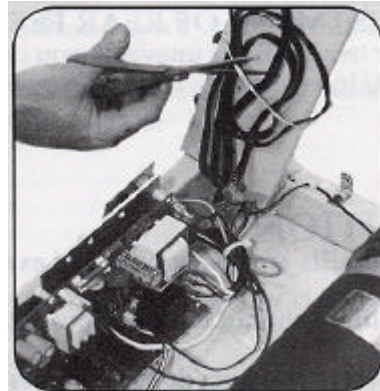


図5

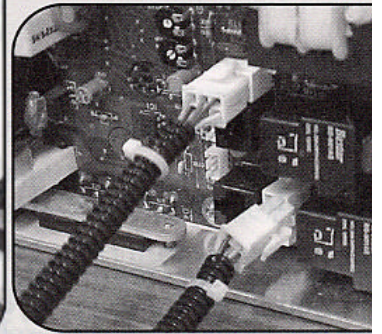


図6

STEP 6

配線を他の部分に接触しないように固定してください。

注意！！

配線がモーター部分に接触しないようにしてください。

STEP 7

モーターカバーをかぶせてスクリーボルトで固定します。

STEP 8

本体上部の孔に手すりを差し込みます。

STEP 9 (図7参照)(図8参照)

皿型六角ボルト5/16" × 11/2" (約4.3cm) にフラットワッシャーを通して本体前の上部から差し込み、手すりの上部を仮止めします。次に5/16" × 5" (約13.3cm) 皿型六角ボルトにフラットワッシャーを入れて手すりの下の部分を固定します。

STEP 10

同じような手順でもう一方の手すりも固定します。

STEP 11

最後に付属のレンチクリップを本体のカバーや柱の横など目に付く危険のない所に取り付けます。



図7

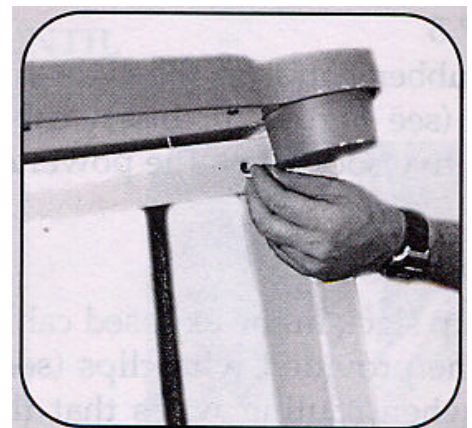
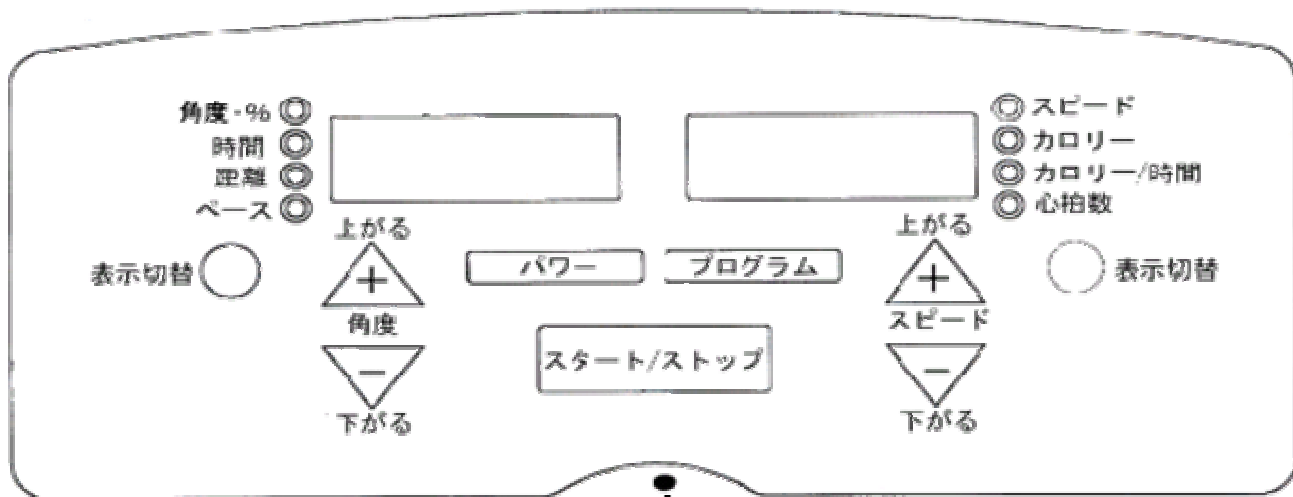


図8

7200SS操作部説明及び操作手順



↑
非常停止キー差込み口
(非常停止キーが差し込まれていないと動きません！)

左画面の説明						
ランプの点灯している個所を表示						
角度	角度をパーセント (%) 表示					
%	1	2	3	4	5	6
度	0.57	1.15	1.73	2.3	2.87	3.45
%	7	8	9	10	11	12
度	4.01	4.59	5.16	5.74	6.31	6.88
時間	スタートと同時にカウントアップ					
距離	0.01 km / 0.01 mile 単位 (10m)					
ペース	1 km / 1 mile までに掛かる時間 を表示します。 例) 時速6 km の場合10:00 (10分) となります。					

右画面の説明	
ランプの点灯している個所を表示	
スピード	km/時またはmile/時
カロリー	スタートしてからの消費カロリー
カロリー/時	現在のスピードで時間あたりの消費カロリー
心拍数	1分間あたりの心拍数 (ハートレイトを胸部に装着して使用する)

スキャンボタン・・・3秒おきに自動的に各機能を順に表示するか、ひとつの機能を表示するかを選ぶ事が出来ます。

キロ表示とマイル表示の切り替え方法

非常停止キーを抜いた状態で右側スキャンボタンを押しながら非常停止キーを差し込んでください。

《表示》 Si・・・キロメートル 《表示》 b r i・・・マイル

キロメートルとマイル表示の見分け方

キロ表示の場合・・・スピード初速0.8 (km/h)、最高速17.6 (km/h) と表示
マイル表示の場合・・・スピード初速0.5 (mile/h)、最高速11 (mile/h) と表示
1マイルは1609mです。

基本的な操作の説明

運動をはじめる前に

(距離はキロメートル・体重入力はkgで説明)



注意

走行ベルトをまたぐように左右のサイドステップの上に立ちます。
非常停止キーのピンを操作パネルの差込み口に差し込んで、またクリップ側を腰のベルトにはさむか手に持ってください。
紐は転倒時に抜けるような長さに調節してください。
慣れてくるまでは両側の手すりを必ずつかんでください。

運動開始手順 (手動操作)

注) 非常停止キーを必ず差込み口に差込んで下さい!

パワーボタン (POWER) を押します。

スピード調整ボタン (SPEED) 又は角度調整ボタン (INCLINE) のどちらかのボタンで体重 (22kg ~ 180kg) を入力します。左側の画面に表示されます。

スタート/ストップボタンを押してください。走行ベルトが最低スピード0.8で動き出します。《キロメートル機能》 《マイル機能》の場合は0.5表示 走行ベルトの上に乗って運動開始です。

A スピードの ボタンを使って好みのスピードに調整してください。スピードの画面に時速が表示されます。 ボタンを一度押すと0.1ずつ変わり押し続けると早く目的スピードが表示されます。

B 同様に角度の ボタンを使って好みの調整してください。角度の%が傾斜の画面に表示されます。スピードのボタン同様、一度押すと1%ずつ変わり、押し続けると早く目的角度が表示されます。

スキャン機能の場合各表示が3秒ごとに順に表示します。

運動を中止するには

スピードボタン で最低スピード (0.0) にします。スピードの画面に表示されます。

同様に角度ボタン で角度を0%にして下さい。

注) 後に使用する人が安全にご利用できる
為に必ず角度は0%にして下さい。

サイドステップの上に立ちます。

スタート/ストップボタンを押します。

パワーボタンを押し電源を切ってください。

運動を一時中止するときは

スタート/ストップボタンを押します。

ディスプレイ画面には今までの表示が画面に残ります。

再運動する時にはスタート/ストップボタンを押します。(スピードが一時停止する前のスピードになりますので注意してください。)



注意

長時間使用しないときには電源コードを抜いてください。
非常時には、非常停止キーを抜いて停止させます。
非常時以外は非常停止キーで走行ベルトを停止させないで下さい。
走行中いきなり電源を切らないで下さい。

オートプログラムの説明

このプログラムは角度が自動で変化するプログラムです。

オートプログラム(P1～P3)のご使用方法

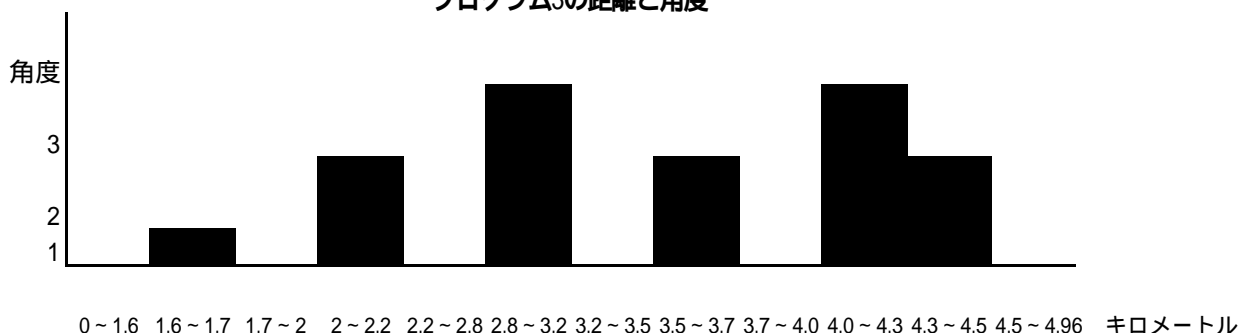
プログラムの操作方法

- 1 パワー(電源)ボタンを押します。
- 2 スピード調整ボタン または、角度調整ボタン のどちらかでご自分の体重入力します。体重は左側の画面に表示されます。(22kg～180kg)
- 3 プログラムボタンを1度押します。右側の画面にプログラム1と表示されます。2度押すとプログラム2となります。3度押すとプログラム3となります。(スピードボタンを押してもプログラム切り替えが出来ます)
- 4 プログラム1と2は1分間のインターバル(間隔)が10回(10分)角度の変更のプログラムが設定されております。

プログラム1,2のインターバルと角度(%)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10分
P1初心者向け	0	1	0	2	1	3	0	3	2	1%
P2中級者向け	0	4	0	4	0	4	0	4	0	4%

プログラム3の距離と角度



距離が達すると角度が変化する

さあはじめましょう

- 1 スタート/ストップボタンを押します。走行ベルトは最小スピード0.8k/hで動き始めます。動き始めてから走行ベルトに乗って下さい。
- 2 スピードボタンでそれぞれ好みのスピードに調整してください。+を押すと速くなります。-を押すと遅くなります。
- 3 左右ディスプレイの表示をそれぞれ切り替えるにはスキャンボタンを押してください。一度押すと自動的にそれぞれの表示を3秒ごとに切り替えて表示します。もう一度押すと表示が固定されます。
- 4 運動中一時停止したい場合はスタート/ストップボタンを押してください。
- 5 運動を終了したい場合はスピードボタンの-を押して走行ベルトが停止してからパワーボタンを押してください。
- 6 長時間使用しないときは電源コードを抜いてください。

ユーザープログラム説明

このプログラムはご自分にあったスピードと角度を入力することが出来ます。

一度入力したプログラムは次回のトレーニング時にスピード及び角度を変更しない限り記憶しております。

注)入力できるのは2パターンのプログラムです。

ユーザープログラム(P4～P5)のご使用方法

ご自分の体力に合わせたプログラムが設定できます。(2種類)

ディスプレイ画面表示上で(P4～P5)ユーザープログラムを設定します。

プログラムの入力方法

- 1 パワー(電源)ボタンを押します。
- 2 スピード調整ボタン または、角度調整ボタン のどちらかで体重入力します。体重は左側の画面に表示されます。(22kg～180kg)
- 3 プログラムボタンを押しP4かP5のどちらかを選択します。右側の画面に表示されます。
- 4
スタート/ストップを押します。走行ベルトが動き出し時間がカウントアップします。1分以内にお好みのスピード/角度に調節して始めのインターバルを開始します。(購入時はスピード0.8k/h・角度0となっております。)

スタートしてからはじめのインターバルの1分後に「ピー」という音がなり、その時のスピード、角度が記憶されます。その後2番目のインターバルに移ります。このように10回分(10分間)のインターバルを入力してください。

スピード及び角度の調整は、1分ごとのインターバルが完全に終わるまではいつでも調整できます。

インターバル中に調整したスピードと角度は「ピー」音時の表示が記憶されます。

インターバル中に調整したスピードと角度は次回同じプログラムを使用する場合でも記憶されています。

パワーボタンで運動が終了するまでインターバルは続きます。

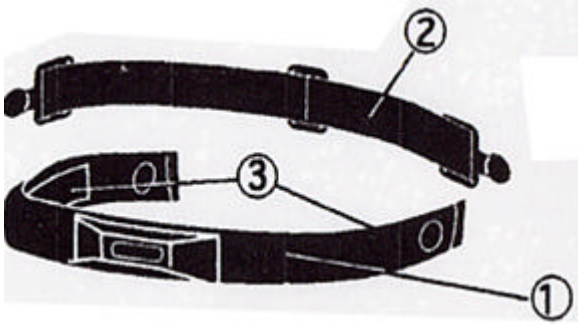
(1, 2・・・9, 10, 1, 2, 3・・・)

運動中一時停止したい場合はスタート/ストップボタンを押してください。

運動を終了したい場合はスピードボタンの を押して走行ベルトを止めてパワーボタンを押し終了させてください。

ハートレイトの使い方

各部の名称

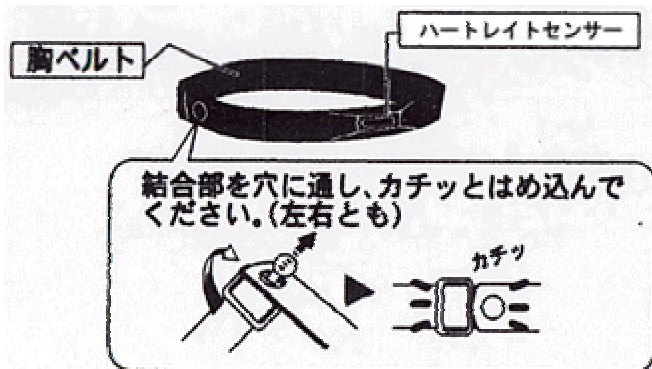


番号	名称
	ハートレイトセンサー
	胸ベルト
	電極

使用方法

ベルトを胸のあたりでつなぎ、長さを調節してください。

ハートレイトセンサーの中央部がみぞおち部分に来るようにセットします。
ハートレイトセンサーの内側が素肌に密着するようにセットしてください。



メンテナンス

1 胸ベルト

胸ベルトの汚れは水、または中性洗剤で手洗いしてください。

2 ハートレイトセンサー

ハートレイトセンサー部の汚れは水、または中性洗剤で手洗いし、その後乾いた布で拭き取って下さい。その際電極部を強くこすらないで下さい。

保管方法

直射日光や雨の当たらない場所で保管してください。
車の中に放置したり、高温又は低温になる場所での保管はしないで下さい。
濡れたまま放置したり、浴室の近くなど温度の高い場所には保管しないで下さい。
折り曲げた状態での保管はしないで下さい。

故障、修理

ご使用中に異常が発生した場合は次の点をチェックしてください。それでもトラブルが解消されない場合は、お求めの販売店、代理店又は当社相談窓口までご連絡ください。


トラブルの内容	チェックポイント/対処方法
心拍数が表示されない 又は心拍数が大きく 変動する。	ハートレイトがきちんとみぞおち部の中心に着用されているかを確認してください。 ハートレイトの両側の電極部が肌に密着しているか確認してください。 電極と肌の間が乾燥していると表示が不安定になる事があります。やや汗をかいた状態のほうが表示はより安定します。電極部を水で濡らして装着をして下さい。

故障かな？と思ったら

状 況	チ ャ ッ ク ポ イ ン ト	対 処
電源が入らない？ (器具1台につき AC100V・15Aの 容量が必要) 200VトランスBOX 外側設置式使用の場合 (AC200V15单相)	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグが正しくコンセントに差し込まれているか？ モニター部に非常停止キーが差し込まれているか？ ブレーカーが飛んでいないか？ ヒューズが飛んでいないか？ 配線コードのゆるみ及び断線。 タコ足配線ではないか？ コンセントにAC100V・15A又はAC200V・15Aの容量があるか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグを再度差し込み直す。 非常停止キーを差込直す。 ブレーカーのリセット及び再整備 ヒューズの交換。再整備をする。 配線の確認。 直接コンセントへ接続する。 コンセントの回路の容量を確認。 同じ回路内で電気容量の多いものはできるだけ同時に使用しないようにする。
走行ベルトが 作動しない？	<ul style="list-style-type: none"> 手順の通りに再操作する。 容量不足？ 	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグを再度差し込み直す。 コンセント容量の確認。 カリブレーション(再設定)を行う。
スピードが不安定 バラツキがある。 スピード異常？ スピード調整不能	<ul style="list-style-type: none"> 走行ベルト裏の確認シリコンが 付着しているか？ 	<ul style="list-style-type: none"> シリコンの噴霧 整備書参照 走行ベルト付近及び裏側の清掃。 カリブレーション(再設定)を行う。
スピード表示が11 までしか上がらない？ 角度調整不能	<ul style="list-style-type: none"> マイル表示になっている。 前方キャスト部に障害物はないか？ 毛足の長いカーペットは使用しない。 	<ul style="list-style-type: none"> キロメートル表示に設定する。 (操作部説明及び操作手順を参照) カリブレーション(再設定)を行う。
モニター表示異常 モニター操作が できない？		<ul style="list-style-type: none"> カリブレーション(再設定)を行う。 販売店へご連絡。
パルス表示しない？	<ul style="list-style-type: none"> センサーを地肌に直接取り付け。 取り付け位置の確認。 気温が低い場合検知しにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> 設置部分に水などで濡らしてみる センサーを胸の中心部に付ける。 センサーを少し暖める。
乗るとスリップする？ つんのめる？ 一瞬停止する？ 乗るとスピードが 2k/h以上下がる？ 乗ると近くの蛍光灯 が点滅する。(暗くなる)	<ul style="list-style-type: none"> 走行ベルトの張り具合が一応でない。 走行ベルト裏のシリコンが乾燥 していないか？ 走行ベルト裏にゴミ・ほこりがないか？ 上記の事項及び電源容量が AC100V又はAC200Vあるかを確 認する。 走行ベルト裏・走行板表面の確認。 (ベルト裏が真っ黒・板の表面にキズ) コンセント又はその回路の容量を 確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 走行ベルトを張り具合を調整。 走行ベルト裏へシリコンを噴霧。 走行ベルト裏を清掃。 整備書 参照 上記の整備及び電源電圧をAC 100V(200V)を維持 消耗していれば交換。 蛍光灯とは別回路のコンセント にする。
走行ベルトが横に ずれる。	<ul style="list-style-type: none"> 走行ベルトの張り具合が一応でない。 	<ul style="list-style-type: none"> 走行ベルトを張り具合を調整 をする。 整備書 参照
作動させると 異音ができる？ ローラー軸異音？ 装置から異臭・異音 ができる？	<ul style="list-style-type: none"> ねじ・ボルト部が弛んでいないか？ カバー等のビスの弛みはないか？ 走行ベルトが弛んでいないか？ 前か後かを確認する。 モーターカバーを外し確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ボルト・ビス類の増し締め。 走行ベルトを張り具合を調整 を調整する。 整備書 参照 軸部に油を注入する。 販売店へご連絡。
* 不具合発生時、上記の表を参考にご確認していただきますようお願いいたします。 又、モーターカバー・モニターカバー内の作業時は必ずコンセントを抜いてください！		

カリブレーション(速度と角度の再設定)

 **危険** この操作は通常必要ございません。

 **危険** カリブレーションを行う時は絶対に走行ベルトの上に乗らないでください。

スピードのカリブレーション(再設定)

スピードの再設定操作手順

スピードボタン (S P E E D) とパワーボタン (P O W E R) の三箇所を同時に押します。左側の画面に C r d と表示されたらボタンから指を放してください。

角度が自動で上がり出したらスピードボタン (S P E E D) の を二箇所同時に押します。

「ピッ」という音と同時に右の画面に目標スピードの数字が表れます。走行ベルトが動き出し左画面に実際の速度が表示されるのでスピードボタン (S P E E D) で0.8になるように微調整します。0.8になったらスタート/ストップボタンを押します。押すと走行ベルトは自動で中間速度までスピードが上がります。

3と同様な操作で右側の画面に目標スピード9.1と記されスピードボタン で微調整して左側の画面のスピードを9.1に合わせます。微調整完了後、スタート/ストップ ボタンを押します。次に走行ベルトは最高速まで回り始めます。

最高スピードまで回ったら、3と同様な操作で右側に目標スピード17.6となりスピードボタン (S P E E D) で微調整し左側の画面も17.6にします。

微調整終了後、スタート/ストップボタンを押しスピードの設定が完了となります。

角度のカリブレーション(再設定)

角度の再設定操作手順

スピードボタン (S P E E D) とパワーボタン (P O W E R) の三箇所を同時に押します。

一番角度のついた状態に本体が自動で上がります。

一番角度がついた状態に上がりましたらスタート/ストップボタンを押します。

自動で角度がついてない状態に戻ります。

最後まで本体の角度が戻りましたらスタート/ストップボタンを押し角度の設定が完了となります。

電源が入らない場合

【ブレーカーと ヒューズの確認】

① ブレーカーの確認

ヘルスジョガーの電源が入らない場合、本体フレームの前部にあるブレーカーを点検して下さい。

黒いボタンが飛び出しているときは電源が遮断されている状態です。(図B)

ブレーカーの黒いボタンを指で押し込んでください。

これでブレーカーは正常にセットされました。(図A)

ブレーカーの黒いボタンが飛び出していない場合、ブレーカーには問題はありません。

② ヒューズ切れ?の確認 (販売店か弊社までご連絡ください。) (図C)

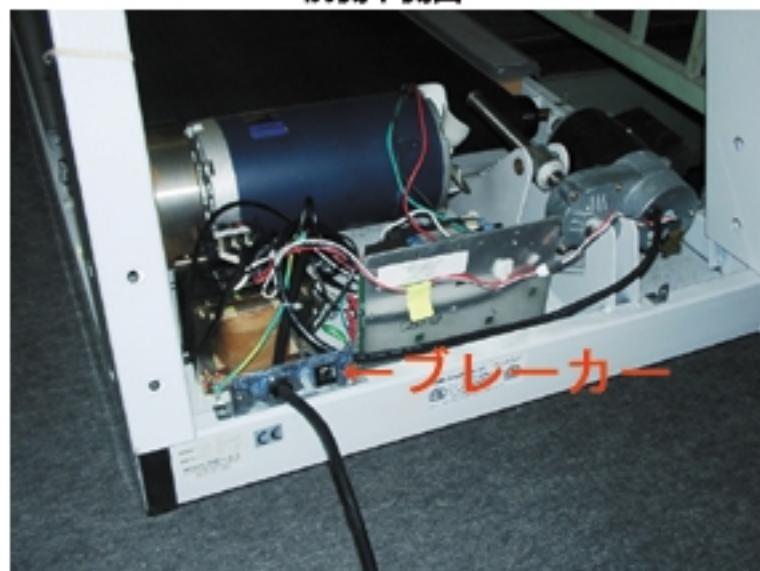
一度、モーターカバーを外し(側面ビスを6箇所外す)ヒューズを交換してみてください。



注意 ヒューズ交換時は必ずコンセントを抜いてください。

ブレーカーの位置

前側下側面



ヒューズの位置

モーターカバー内



図 A 正常の場合

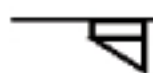


図 B 異常の場合



飛ぶと下へ飛び出る

ヒューズ切れはテスター等で
ご確認ください。

ヒューズは250V15Aで
長さが3cmのガラス管の
ものをご使用ください。

◎ ブレーカーとヒューズが飛ぶ原因

(整備・清掃がされていない場合発生することが多い)

1. 走行ベルトの滑りが悪くなりモーター・IC基盤等に負荷がかかった場合
2. 走行ベルトの張りすぎでモーター・IC基盤等に負荷がかかった場合?
3. IC基盤類にゴミ・ほこりが蓄積し静電気が発生した場合。(アースを取って下さい。)
4. 水分が電気部品に付着しショーした場合
5. 電源コンセントの容量不足。



注意

このブレーカーが飛んでいた場合リセット後10分以上停止させ、黄色い紙のお手入れと整備を参照の上、整備・清掃を行なっていただき、再度ご使用ください。

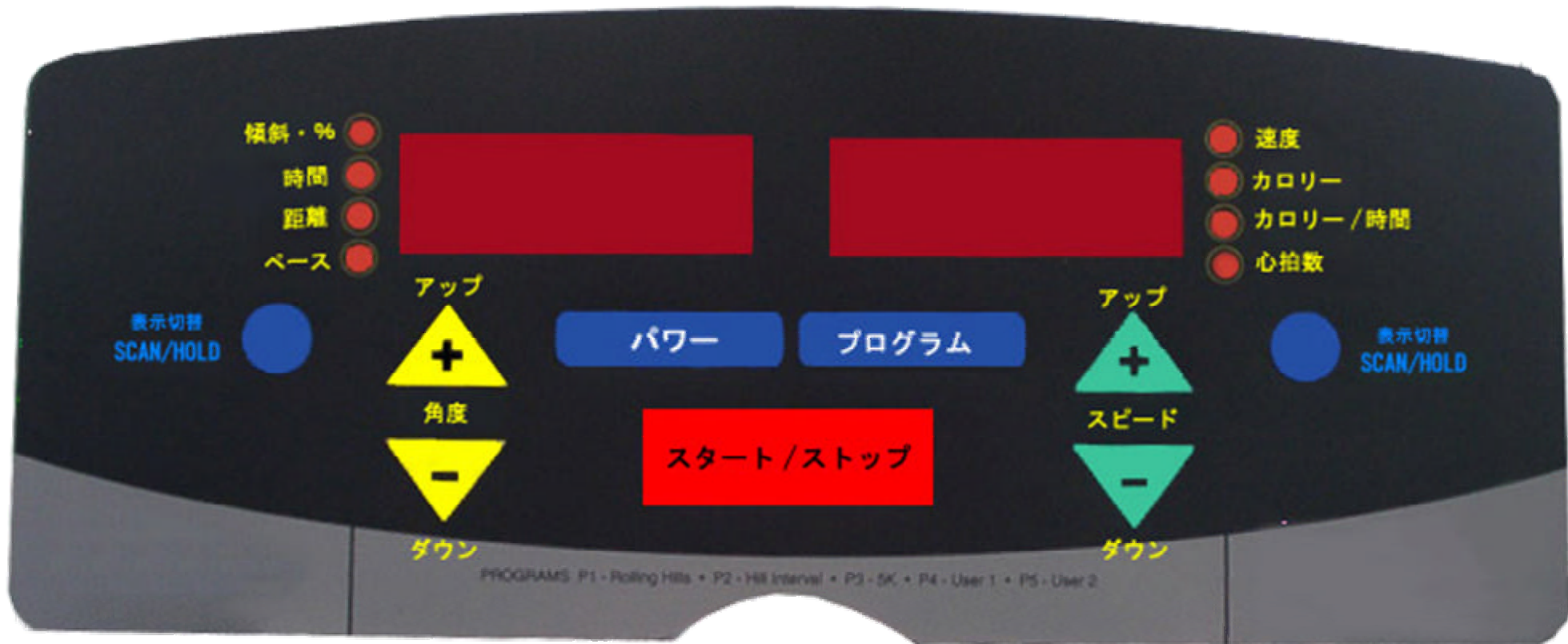
(電気部品の熱を冷ますため)

製品仕様

品名	ヘルスジョガー
品番	HJ-7200SS
本体サイズ	幅 805 × 奥行 1920 × 高さ 1250mm
歩行路サイズ	幅 507 × 長さ 1425mm
走行面	衝撃吸収ゴムベルト 走行板クッションパッド付き
すりの高さ	走行面より約880～970 mm
走行面の高さ	床より約140mm
本体重量	約125kg
計器表示	スピード / 時間 / 距離 / カロリー / 心拍(ハートレートセンサー付き)
心拍(パルス)方式	胸部ワイヤレスセンサータイプ
搭載 トレーニングプログラ	5種類 オートプログラム3種類・ユーザープログラム2種類
走行面傾斜方式	電動式 0～12 傾斜段数 約 0～7度
スピード	約0.8k/h ~ 約17.7k/h
電源	AC 100V 15A 1.7KW(オプション AC200V 単相 トランスボックス)
馬力	2.7馬力
使用体重制限	148kgまで
使用室内環境	温度: 6 ~ 40 湿度: 80%以下
原産国	アメリカ

製品の使用及び外観などは改良の為、予告なしに変更することがあります。
何卒ご了承くださいませよう宜しくお願いいたします。

基本的な操作方法



一般的な使い方

パワー (POWER) を押す
体重入力
角度 (INCLINE) かスピード (SPEED) ボタン + か - で入力する
スタートボタンを押す
スピード・角度を ボタンの + ・ - で調整する

プログラムの使い方

パワー (POWER) を押す
体重入力
角度 (INCLINE) かスピード (SPEED) ボタン + か - で入力する
プログラムボタンで P1 ~ P5 を選ぶ
スタートボタンを押す
スピードを のボタンの + ・ - で調整する
17

品質保証規定

- 1 取扱説明書の注意に従った正常な使用状態で、万一品質上の不具合がおきたときは、本証の記載内容によりお買い上げ後1年間、原則として販売店が無料修理致します。
- 2 保証修理は補修又は部品の交換によって行ないこれによって取り外した不具合部品は、弊社の所有となります。
- 3 出張修理の依頼がある時は、出張費を請求する場合がありますので、予めご相談下さい。
- 4 保証修理をお受けになる場合は、製品に本証を添えて、お買い上げの販売店にご相談下さい。
- 5 保証期間内であっても、次の場合は有料修理となります。
 - 誤用、乱用及び取扱不注意によるもの
 - 大火、水害、地震及び盗難等の災害によるもの
 - 部品の通常の磨耗、又は疲労（走行ベルトモニターフィルム、シリコンスプレー、プラスチックカバーボルト等）
 - 使用中の生じたキズ、色の褪褐色等外観上の変化
 - 機能に影響のない感覚的な現象（音、振動など）
- 6 本証は日本国内でのみ有効です。また本証の再発行は致しません。

この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

品質保証書

この保証書は商品名、納入年月日、お客様のお名前等、必要事項をお買い上げ店で記入捺印することによって有効となります。

型名	HJ - 7200SS 型	
保証期間	お買い上げ日より1ヵ年	
お買い上げ日	年 月 日	
お客様	ご住所	〒
	ご氏名	
	お電話	
販売店		

株式会社 中旺ヘルス

〒452 - 0011 愛知県西春日井郡西枇杷島町城並3-2-2

TEL 052-501-2577

FAX 052-501-2588